茨城県教育研究会の統計教育研究部が大内賞を受賞

～団体での受賞は全国初の快挙～

わが国の統計の改善・発展に貢献した個人・団体に贈られる大内賞の本年度受賞者が，県教育研究会統計教育研究部（部長・蓑輪博子水戸市立稲荷第二小学校長）に決まりました。団体に賞が送られるのは，平成10年度の規定改正によりグループ・団体なども対象に追加されて以来初めてのことです。

同研究部は統計教育の振興を目的として，県内の公立小中学校の教諭をもって昭和37年度に組織された団体です。

主要な活動としては，統計グラフの作成指導，あわせて統計グラフコンクール（財団法人全国統計協会連合会主催）応募等への積極的な取り組み，統計グラフ巡回作品展の実施（毎年県内全公立小中学校で開催），統計グラフ指導者講習会への参加や統計教育推進校の指定（毎年県内5校）などの事業に力を入れています。このような積極的な取り組みにより，本県が統計グラフコンクールへの応募点数で17年間全国1位という成果をあげていることなどが高く評価され，受賞しました。

受賞団体を代表して，蓑輪部長は「このたびの受賞は，県内の先生方はじめ，関係機関の方のご支援の賜と受け止め，大変うれしく思っております。長い年月をかけて，堅実に歩んできた実績を評価していただけたと，皆様と共に喜びたいところです。これからも情報・統計教育の役割を十分に認識しまして，その振興につとめて参りたい所存です。」とコメントしています。

大内賞とは，戦災のために統計資料も，新たに統計を作る体制もほとんど壊滅状態に置かれていた戦後において，これらの改善策の検討と企画を行うために昭和21年に設置された統計委員会の委員長として，統計の基本法である統計法の立案をはじめ，官庁統計機構や統計体系の整備・充実，各種統計調査の実施の調整，国際統計活動との連携など，戦後におけるわが国の統計及び統計制度の再建に尽力した大内兵衛博士の業績を記念して昭和28年に設けられた賞で，日本統計界における最高の栄誉とされています。

その目的は，わが国の統計の改善・発展に貢献した方を顕彰し，広く統計関係者の志気の高揚と統計知識の普及に寄与することにあります。

同賞は，①多年統計実務に関与し，著書・論文等によって統計の進歩に直接貢献した人，②多年統計実務に従事して統計の進歩に貢献した人，③多年統計の普及に努め統計の進歩に貢献した人，④統計の実務又は普及を通じ，統計の進歩に顕著な貢献をした人又はグループ・団体等，4分野のうちいずれかに該当する場合に贈られるもので，これまでに全国で239名（うち本県関係者2名）が受賞しています。